

# 令和6年2月22日 「建築研究所講演会」の開催

(問い合わせ先)

企画部企画調査課 岡部

Tel 029-879-0638

E-mail [r-okabe@kenken.go.jp](mailto:r-okabe@kenken.go.jp)

# 令和5年度建築研究所講演会

## 目的

建築研究所講演会は、年に一度、建築研究所の研究開発成果や調査活動の報告を通して、住宅・建築・都市分野における最新の技術情報を広く一般の方々に提供するために開催しています。

## 日程

開催日時	令和6年2月22日(木)13時00分～17時10分(開場12時00分予定)
開催場所	つくばカピオホール(茨城県つくば市)
特別講演	「建築物を造る過程の計画と管理、数理科学的アプローチの光と闇」 嘉納 成男 氏 早稲田大学名誉教授
一般講演	8課題
その他	入場無料(要事前登録、座席自由) ※ライブ配信も予定

※ 講演会の詳細は、今後、ポスター、チラシ、ホームページで御案内します。

# 特別講演

早稲田大学理工学術院 名誉教授の嘉納 成男 (かのうなるお) 氏をお迎えし、「建築物を造る過程の計画と管理、数理科学的アプローチの光と闇」について御講演いただきます。

## 嘉納 成男 名誉教授のプロフィール



1947年生まれ。

早稲田大学理工学部建築学科卒業。

専門分野は建築生産。博士(工学)。

スタンフォード大学客員教授、日本建築学会副会長等を歴任。

1995年、「建築工事における工程計画手法に関する一連の研究」にて日本建築学会賞(論文)受賞。

2023年、「工程計画と管理における数理科学的手法の開発とそのICT化の促進に関する学術的貢献」にて日本建築学会大賞を受賞。

著作・共著に「建築工事における施工シミュレータ :設計BIMと施工BIMとの橋渡し」、「建設プロジェクトにおけるVEの活用」、「ワボットのほんく6>ロボットのための家」等。

# 建築研究所の研究者による一般講演

建築研究所が取り組んでいる建築・住宅・都市分野の研究課題を中心に、最新情報を御紹介いたします。

1	CLTパネル工法建築物の仕様規定ルート創設に向けた検討	材料研究グループ 主任研究員 山崎 義弘
2	木造防耐火構造の基準化に関する取り組み	防火研究グループ 主任研究員 鈴木 淳一
3	木造建築物の重量床衝撃音遮断性能向上技術に関する検討	環境研究グループ 上席研究員 平光 厚雄
4	公的統計マイクロデータの活用による人口・世帯数・住宅ストック推計の新展開	住宅・都市研究グループ 主任研究員 中野 卓
5	杭撤去による地盤の緩みを微動探査から推定する可能性	構造研究グループ 上席研究員 新井 洋
6	津波シミュレーションと津波波源モデルの構築	国際地震工学センター 上席研究員 藤井 雄士郎
7	木造家屋の水害による損傷状況と作用する外力に関する考察	材料研究グループ長 槌本 敬大
8	被災地調査にもとづく浸水被害を受けた住宅の復旧方法に関する研究	建築生産研究グループ 主任研究員 渡邊 史郎